

東北海区沿岸水温予報(2021年)

海域	経過 (12～1月)	現況(2月上旬～ 2月中旬)	見通し (3～4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:12月は平年並み～やや高め、1月は平年並み～高めで推移した。</p> <p>・12月の海洋観測の結果、津軽暖流域の層別最高水温は全層でやや高めであった。また、津軽暖流の水塊深度はかなり深め、東方への張り出しははなはだ東偏であった。</p>	<p>・定地水温:平年並みで推移。</p> <p>・2月の日本海海洋観測の結果、対馬暖流域の最高水温は各層共に平年並みであった</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並み～やや高めで推移する。</p>	<p>・直近の太平洋沿岸定地水温、日本海海洋観測結果が「平年並み」であるものの、太平洋および我が国周辺の漁海況予測システム FRA-ROMSで、沿岸域は高めの傾向が持続すると予測される。</p> <p>・気象庁の季節予報によると、3～4月の気温は高めと予報されている。</p>	なし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p><b>【12月】(11/30～12/3)</b> 《表面水温》 10海里以内は11～13℃台であり、全域で平年並み～やや低めであった。 10海里以遠は、全域で平年並み～低めであった。 《100m深水温》 10海里以内は、全域で平年並み～やや低めであった。 10海里以遠は、県北部沖で平年並み～極めて低め、県中部沖から県南部沖では平年並み～低めであった。</p> <p><b>【1月】(1/25～1/26)</b> 《表面水温》 10海里以内は、4～9℃台であり、県中部沖でやや低め～極めて低めのほかは平年並みであった。 10海里以遠は、県北部沖20～30海里で低め、県南部沖30～50海里でやや低め～極めて低めであった。 《100m深水温》 10海里以内は、全域で平年並み～やや低めであった。 10海里以遠は、県北部沖20～30海里及び県中部沖から県南部沖の30～50海里でやや低めであった。</p>	<p><b>【2月】(2/9、2/10)</b> 《表面水温》 県中南部(トドヶ崎、尾崎、椿島の)0海里定点は、7～8℃台であり、3点とも平年並みであった。</p> <p>※荒天のため、5海里以遠の海洋観測が実施できていない。</p>	<p>3月上旬には、襟裳岬沖から本県沖合域に親潮第1分枝が張り出す見通しとなっている。 岩手県海域の表面水温は3～7℃台(平年並み～低め)、100m深水温は2～7℃台(平年並み～やや低め)となる見通し。</p>	<p>水産研究・教育機構が運用しているFRA-ROMSの、3月上旬の水温予測図及び平年偏差予測図を基に判断した。</p>	特になし
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p><b>【12月】</b> 142° E以東に冷水が波及し、表層で1～2℃、100m深で2～5℃低め。</p> <p><b>【1月】</b> 仙台湾では2℃低め。表層は38° Nの142° E以東で1℃高め、38° 30' Nの141° 50' Eで1℃低め。100mではおおむね平年並み。</p>	<p>海況悪く欠測地点が多いが、38° 30' N以北、142° 10' 以西においては表層・100m深ともに平年並み。</p>	<p>黒潮系暖水が岸寄りに波及し、38° Nラインで表層・100m深ともに最大4℃程度高め。</p>	FRA-ROMSによる。	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	<p><b>【12月】</b> 《100深水温》 県北沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県中沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南沿岸は「平年並み」、沖合は欠測</p> <p><b>【1月】</b> 県北沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県中沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南沿岸は「平年並み」、沖合は欠測</p> <p>※県北:37° 50'N、県中:37° 25'N、 県南:37° 00'N 沿岸:142° 00'E以西、 沖合:142° 15'E以東</p>	<p><b>【2月】</b> 《100深水温》 県北沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県中沿岸は「極めて高め」、沖合は欠測 県南沿岸は「極めて高め」、沖合は欠測</p>	<p><b>【3月】</b> 「平年並み」もしくは「やや高め」で推移する。</p> <p><b>【4月】</b> 「平年並み」もしくは「やや高め」で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの自己回帰システムモデルを用いた水温予測によると、3、4月ともに100m深水温は「平年並み」基調で推移すると予測されている。</p> <p>気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(2月10日発表)によると、3月10日までの本州東方の海面水温は「平年より高い」が「かなり高い」見込みであり、親潮は「沿岸寄りの分枝の南限位置が40.5°N、143.5°E付近、沖合の分枝の南限位置が40°N、146.5°E付近」になり、「面積は平年より小さい」と予測されている。</p> <p>また、FRA-ROMS発表の2021年3月～4月にかけての100m深水温によると、3月の福島県海域の水温は平年より2～4℃高めとなり、4月上旬でも黒潮系暖水の波及は強まるため、この傾向は</p>	

				<p>継続すると思われる。 以上のことから、3月～4月にかけて「平年並み」もしくは「やや高め」基調で推移すると予測する。</p>	
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸； 茨城水試発表)</p>	<p><b>【1月】</b> 12月からの断続的な暖水波及により、ごく沿岸を除いて黒潮系暖水に覆われ、0～100m深では「平年並～高め」となった。鹿島定線の141° E～141° 30' Eの海域で逆潮が観測された。親潮第一分枝は本県沿岸から遠く、道東沖に位置していた。</p>	<p>12月から続く断続的な暖水波及と沿岸寄りの黒潮統流北限が北偏したことにより、10℃以下の冷水の南下が妨げられたことにより、本県北部では前月よりも昇温傾向で、平年と比較すると、「平年並～高め」となった。会瀬～大洗定線の141° E～141° 30' Eで逆潮傾向が観測された。親潮第一分枝は本県沿岸から遠く、三陸沖に位置している。</p>	<p>「やや高め」で推移する見通し。</p>	<p>①FRA-ROMSによると、3月下旬の本県沿岸域の水温は0m深・100m深ともに「平年並～やや高め」の予測となっている。</p> <p>②気象庁によると本州東方・関東南東方は「平年より高い」か「かなり高い」見込みとなっている。</p> <p>③親潮の勢力は依然として弱く、黒潮統流の北限が北偏しており、今後も暖水波及の発生及び暖水が残る可能性がある。</p> <p>④以上より、今後の水温は「やや高め」で推移すると予測した。</p>	<p>1月27、28日の那珂湊定値水温が13℃で過去同日の水温としては最も高くなった。</p>

**各階級の水温平年偏差の範囲**

階級区分(出現率)*	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸 10 海里内	距岸 10～70 海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.7℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.3℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～

\*1991年1月～2020年12月の100m深度の水温データを基に階級区分を行なっている。